

平成26年度吉見地区まちづくり集会開催記録（概要）

◎日 時 平成26年8月30日（土）14:00～16:00

◎場 所 吉見公民館 研修室

◎出席団体数 17団体

吉見地区自治連合会、吉見中学校コミュニティ・スクール運営協議会、吉母連合自治会、吉見西田川河川愛護推進委員会、吉見小学校PTA、吉見中学校PTA、吉見婦人会、吉見長寿会、下関市消防団吉見分団、吉見教育後援会、吉見地区保健推進委員会、吉見地区食生活改善推進委員会、萌え気会、(株)前田石油、吉母連合長寿会、蓋井島自治会、吉見第12長寿会

◎市出席者 市長 中尾友昭

副市長 坂本康一

総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：田中光太郎

総合政策部地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也

吉見支所長：町野辰己

◎傍聴者 なし

◎次第

- | | | |
|---|--|--------|
| 1 | 開 会 | 14:00 |
| 2 | 市長講話（私が考えるあらたなまちづくり） | 14:00～ |
| 3 | あらたなまちづくりに関する意見交換 | 14:15～ |
| 4 | 下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案）
及び全体スケジュールの説明 | 14:30～ |
| 5 | 推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換 | 15:10～ |
| 6 | 閉 会 | 16:00 |

◎まちづくり集会開催の目的

住民自治によるまちづくりを推進するため、その基本となるまちづくり推進計画の策定等に関し、広く地域住民の意見を聴取する場として、それぞれの地域において「まちづくり集会」を開催します。併せて、それぞれの地域における住民等のまちづくり活動に対する機運の醸成を図ることを目的としています。

◎まちづくり集会開催
開式のことば
出席者紹介



◎市長講話
私が考えるあらたなまちづくり
～別紙：市長講話の概要参照～

◎あらたなまちづくりに関する意見交換

参加者 私は吉母にいるが、吉見エリアと吉母エリアは色々と状況が違う。大きいところに入ると吉母が見えなくなる。大括りだけなのか。生活エリアが違うことを市としてどう考えているか。

市長 市全体でとなると大変なことになる。中学校の影響の範囲でやってください。そして自慢し合って発信していただきたい。

参加者 吉見の方が大きいため吉見が主体となる。そして吉母の人が会合に参加しても発言しなくなる。やり方を自分らで考えろというのか、市の方がアドバイスしてくれるのか。吉見は高齢化が37%、吉母は47～8%で地域性が違う。

市長 吉母で話をまとめてもらってこういう会議で話してもらおう。ミニタクシーでも地元でやろうとか、何か事業をして収入をつくるとかで出てくるだろうと思う。それを自慢し合ってください。

参加者 去年から今年にかけてまちづくりをしようということで、ベンダーで自治会で利益をあげようとしたことで各地区ダメージを食らった。またあるところの運営を任されたのだが請負業になるとのことで、税務署の件で市の対応が非常に鈍かった。こういうことのないようにしっかりとやっていただきたい。分からないことはこちらもしっかり勉強させていただく。

市長 自治連合会に大変迷惑をかけ、市として反省しているところがある。市の事業としては完結しているが、みなさんに災害ベンダーをお願いをしたという点で職員に税の知識が足らなかった。同じことにならないよう対応を考えている。

◎下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案）及び全体スケジュールの説明
～別添：説明概要及び説明資料参照～

◎推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換

参加者 自治会とどう違うのか。ほとんどの地域でイベント他いろんなものを、自治会がやっている。協議会作っても主体的には自治会が動くことになるのでは。

- 市担当 今度の新しい組織は自治会だけではなく色々な既存の組織に入ってもらってネットワークを持ってもらう。勿論自治会が福祉関係等もやっってもらっているが、すべての地区できているだろうかということと、自治会以外の団体の方が困っていることもあるかもしれない。また今後人材も不足していく中で、そういったことを色々な団体が集まった中で、この吉見地区で何が課題で何を中心に取り組んでいくかということをもまずは話し合っていくということ。必ずしも自治会が中心でないといけないわけではないが、他市の事例を見ると自治連合会が中心になっているところが多い。
- 参加者 言われることは分かるが、田舎に行けばいくほど自治会が中心となって活動している。高齢化の問題の中で人材をどうやって集めるかという課題が出てくる。この協議会内の組織で活動していることにより自治会の会長や役員をしない人が出てくれば自治会運営ができなくなる。その辺の兼ね合いを懸念している。
- 市担当 一番大きい問題だと思う。市として力を入れていかないといけないのは人材育成である。市立大学で未来大学を開催したりしていて、定年退職して地域デビューしたいが入っていけないという人もいる。つながりの中でよしやろうという雰囲気話し合いの中で出てくれば。
- 参加者 地域のをどう巻き込んでどうやって行くかが大切であると思う。しかし既存の自治会とあまり変わらないのでは。ただ名前が変わって情報発信するとなればどうせ自治会が動くことになる。
- 参加者 下関市の委員会でもその話は強くあった。自治会の会員が入っていないと物事はほとんど進まない。しかし以前健康推進委員から言われたが、自治会主導となると我々は意見の一つも言えないと。民生委員もそうだった。
- 参加者 未来大学というのは、今から行こうと思えば行けるのか。
- 市担当 公募して行うのでいつでも入れるが、今確か6回まで終わっている。
- 参加者 私も自治会から出席しているが、ここに来られている人も色々な役を持って重複している。全く今吉見で頑張っやっていることである。
- 市担当 未来大学はもっと広報しないといけないと思う。また来年こういうところにも情報が来るようにする。重複の問題だが、ふるさとづくり推進協議会という団体が残っているところもあり、活動に対しても敬意を持っているが、我々の考えるネットワークを持って活動の幅を広げるには人手不足等でつながりが少しずつ弱くなっているのではと思っている。他市の例で、重複した組織があればそれを母体として、色々な団体に参加してほしいし、公募委員とか、組織の形態についても担当職員には地域のことをよく理解してアドバイスしながら一緒に考えていくことが重要だと思っている。
- 参加者 心情的には住民自治によるまちづくりは非常に難しいと思う。いろんな

分野からの人選をしてもいろんなところからクレームがつく。住民みんなから参加したい人を公募させたらどうかという話も出た。勿論それは現実的ではない。それほどに難しいということ。

市担当 私も非常に難しい課題を与えられたなと思うが、やらなければいけないと思っている。

参加者 先ほど市長からも市の担当者を地域に置くという話があったが、異動ですぐ変わるのは止めてくださいね。

市担当 仮に17地区でこの話がスタートするとなると、豊北町なんかは遠い。非常に広く集まるだけでも大変である。夜車で動いてたらシカが出てくる。この吉見より高齢化が進んでいる。だからそれぞれの地域にふさわしい組織の在り方もあろうと思う。既存組織との役割分担も今から考えていけないといけない。一律には絶対にできない。職員の話になるが、ここの職員はよくやってくれる、お前の地区はどうかと、変えてくれと、逆にずっとおらしてくれと、おっしゃればありがたいことである。

参加者 地域のことに携わるのだからできるだけ長いスパンで見てほしいということ。そうすれば我々も話がしやすいし、新しく転入してきた人もすぐ溶け込める、そういう体制を作っていくといけない。そういう要望として言っている。

市担当 他市の例を言うと3年という任期があるが、地域からの声で延長しているようだ。ご要望としていただいておく。専任のところも結構あるし、兼務のところもあるし、一地区に2人のところもあれば、1人のところもあったり、複数地区を1人で持ったりといろいろある。ただ下関も正直なところ職員が少ないが最低1人は何とか総務部と検討したい。

参加者 例えばまちづくりなら同じような事業、これは国のヒモ付きかどうか知らないが、国の方も地方創生のようなことを安倍政権は言っているが、そういう国県の補助はあるのかどうか。

市担当 国県の予算は全くない。

参加者 でも考えてみたら時間がない。

市担当 平成28年度からスタートしませんかと言っているので、1年半くらいあるのでその間に。

参加者 要は補助金と言われても何に使っていいかわからない。補助金の使い道が分かれば予算が組めるということなので、それが分かればそこそこ絵が描けるということ。こういう会議に要るんだ、広報活動に要るんだ、調査活動に要るんだと分かるけど、補助金をどこに使っていいやら。お金の話は将来は要るだろうというのは分かる。

市担当 例としてマニュアルの中で示していったらと思う。これは計画なのでなかなか分かりづらいと思うので、設立しようとなったとき、マニュアルで具体的によその実際にどんな活動してどのくらい金を使ってやっているかということ为例として示していかないと分かりづらいのではな

いかと考えている。

市担当 資料の推進計画の3ページの補完性の原理、有名な学者が唱えたのだがこれが目的である。地域における課題というのがきつとあると思う。それはこの地域にお住まいの方が一番よくお分かりになっている。何が一番問題なのか、それをきちんと話し合ってみていただける組織ができればそこで市としては非常にありがたい、という思いはある。おっしゃるようにできる限り担当職員は長いほうがいいに決まっている。ただ職員には職員の事情があるし、まだ専任で付けるのか他に本務を持っている職員で近くの職員を付けるのか決まっていない。そこは柔軟に対応していきたいと思う。この地域にはこの地域の特性がある。いいところもあれば、弱点もある。それをこの地域の人たちが、今までの既存の組織の垣根を越えて集まる機会が増えれば、それが即ち自治会というのなら自治会でいい。

参加者 ただ、どういうところから手を付けたらいいか、法的にも、吉見でいうと駅の裏、あれだって遊んでいるので何とかならないかと言っても、いろんな問題がある。そういう現状を市の専門家の人たちが土地の問題についてはこうだ、農業としてはこうだと、そういう引っかけを取り除いてもらえないとなかなか地元の一般市民では難しい。私らは何十年とここにいますが、皆思いは同じである。何とか賑わいをもちたいと思っていますけど、どうしたらいいか、実際に具体的なものは手が付けられない。それが現状である。

市担当 職員も必ずサポートに来るし、先ほど市長からもあった市議会議員も顧問としたり、未来大学の話もあったが、逆にこの吉見吉母地区の現状を外から見て分析してくれと言ったら市立大学に依頼してもいいと思う。いろんなやり方があると思う。自分らがこう思うけど、どう思っているかというような使い方もできる。

参加者 設計コンサルに出す費用とか出してもらえるのか。500万円とか1千万円とか。

市担当 具体的に何に対してというのが決まっていないのではっきり言えないが、そういった勉強会するとか、コンサルはちょっと厳しいかと思うが、アドバイザーをよこせとかであれば。

参加者 駅の裏を開発しようと思ったら、設計コンサルに出さないといけない。

市担当 基本的にはソフト事業である。具体的には今から詰めていくが。

参加者 駅の裏は開発したら補助事業で道路をまずこさえてもらう。その周りの田んぼも市民農園とか何かにかける。

参加者 そこらをこのまちづくりの協議会で検討してそれで協議していけばいい。

市担当 できないことは公助ということで市に要望とか提案とかありだと思ふ。

参加者 ソフトばかりじゃ、一つも面白くないわけです。

- 市担当 ハードは提案していただきたい。
- 市担当 いろんな団体から個別に陳情が出るが、それをこういうところでまとめていただいて、優先順位つけていただくということも、なかなか最初から負担はかけられないので徐々にと思っているし、提案となると結構重いですから、提案制度も今から検討していくように考えている。
- 参加者 こういうまちづくりという部分では、できるだけ若い世代の方々が入りやすいまち、住みやすいまちがいい。住宅に対しても手厚い金利で安くして来てもらったりとか。
- 市担当 今よく全国で山口何とか隊とか言って、女子中学生、高校生のグループが全国に自分たちの地域をPRするみたいなそういった活動があって、あれ非常に面白いなと思って、是非この吉見地区吉母地区蓋井島地区を若い人でグループを作ってそういったPRをして、売り出すみたいなことも考えたら面白いなとか思ったりしたんで、それに限らず若い力を、是非活力を与えていただきたいなというふうに思う。
- 参加者 お話を聞いていて、まちづくりという私たちや下の年代は子育てに一生懸命なのでまちのことをあまり考える機会がないというか、この会で初めてそういうふうに関わっていくんだ、というのを考えたが、もっともっと若い方がこういうことを考える機会があればいいなと思うので、是非若い方の意見も取り入れて進んでいかれたらいいんじゃないのかなというふうに思った。
- 市担当 住民自治というのは端的にいうのは民主主義ということである。特に民主主義というのは地域に下ろしていったらなるべく広い世代いろんな各界各層の方の意見がきちんと上がってくるというのが理想形であるから、若い方が参加しやすい、できる限り多くの方が参加しやすい組織がいい。それからまちづくりという言葉はハード面もあればソフト面もある。子育ての家庭を例えばもっともっと応援して行こうというようなまちづくりもある。この地区にとっては何が大切なのか、逆に独居老人を回ろうというまちづくりもある。そこはしっかり調べていただいて。外へ向けて格好いいことをやろうと、そういうことだけではない。本当に皆さんが暮らしやすい地域を作っていただければ、それで市としては大変ありがたい話と思っている。
- 参加者 人を集めるというのは今から先ちょっと不可能だと思う。ということは人が多くなくても潤いというか、まち全体が活気づくというか、人が少なくてもまちにあるものを掘り起こすサポートを行政にしてもらいたい、これが一番の願いである。そのためには市の方の人事もあろうが、例えば地域支援課の方をよく研修してもらって、支所、総合支所に1つずつ張り付けるとか。あるいは活動の場所に張り付けるとか難しいのだろうが、そういうことを検討してもらいたい。